

えどがわ 区議会 だより

令和4年第2回定例会号

発行
江戸川区議会



<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

新型コロナウイルス感染症対策 関係費等を含む補正予算を可決

令和4年第2回定例会

6月15日から6月30日までの16日間の会期
で開かれました。

- この定例会では、区政の各分野における課題について、10名の議員が質問を行い、区長に報告や説明を求めました。
- 区長から、新型コロナウイルス感染症対策関係費のほか、原油価格や物価の高騰に対する支援策に係る経費などを計上した補正予算を含む23件の議案、報告5件が提出されました。これらの議案は、いずれも原案のとおり可決されました。
- 議員からは「緊急事態に関する国会審議を求める意見書」を含む3件の議案が提出され、継続審査となった1件を除き、それぞれ可決されました。意見書は、各関係機関に送付しました。
- この定例会の会議録は、9月頃にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

新しい議会の構成が決まりました！

常任委員会 ◎委員長 ○副委員長

総務 委員会



◎田中寿一
自由民主党



○所たかひろ
公明党



野崎まこと
自由民主党



笹本ひさし
江戸川クラブ



高木ひでたか
自由民主党



セバタ 勇
日本共産党



伊藤てる子
公明党



竹内すすむ
公明党

生活振興 環境委員会



◎早川和江
自由民主党



○太田きみひろ
公明党



滝沢やすこ
無所属



中山たかひと
自由民主党



大橋美枝子
日本共産党



ます 秀行
江戸川クラブ



くぼた龍一
公明党



須賀 精二
自由民主党

福祉健康 委員会



◎中道たかし
公明党



○白井正三郎
自由民主党



小林あすか
江戸川クラブ



本西みつえ
生活者ネットワーク



しかくろ 勇
自由民主党



堀江そういち
公明党



小俣のり子
日本共産党



川口としお
自由民主党

文教 委員会



◎ふじさわ進一
自由民主党



○関根まみ子
公明党



伊藤ひとみ
生活者ネットワーク



間宮 由美
無所属



栗原ゆたか
自由民主党



金井しげる
えどがわ区民の会



川瀬やすのり
公明党



島村 和成
自由民主党

建設 委員会



◎田中じゅん子
公明党



○斉藤つばさ
自由民主党



田島 寛之
自由民主党



牧野 けんじ
日本共産党



神尾てるあき
えどがわ区民の会



岩田まさかず
江戸川クラブ



佐々木ゆういち
公明党



福本みつひろ
自由民主党

第1回臨時会の概要



令和4年第1回臨時会は5月26日・27日の2日間の会期で開かれました。

■任期満了に伴う常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任と、一部辞任による特別委員会委員の選任が行われました。

■区長から議案2件、報告1件が提出され、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

■議員からは「ハワイ州ホノルル市議会との友好議会協定の締結に関する決議」の議案1件が提出され、全会一致で可決されました。

区長から提出された議案

○議案

- ・令和4年度江戸川区一般会計補正予算（第2号）
- ・江戸川区児童育成手当条例の一部を改正する条例

○報告

- ・専決処分した事件の報告及び承認について
令和3年度江戸川区一般会計補正予算（第13号）

各種委員会の構成

議長…福本みつひろ 副議長…堀江そういち

委員会名	議会運営委員会	特別委員会				
		行財政改革・SDGs推進	災害対策・街づくり推進	熟年者支援	子育て・教育力向上	新庁舎建設等検討
委員長	高木 ひでたか	川瀬 やすのり	中山 たかひと	伊藤 てる子	栗原 ゆたか	野崎 まこと
副委員長	竹内 すすむ	しかくら 勇	牧野 けんじ	笹本 ひさし	小林 あすか	佐々木 ゆういち
委員	小林 あすか 田島 寛之 しかくら 勇 牧野 けんじ 所 たかひろ 太田 きみひろ 野崎 まこと 金井 しげる 笹本 ひさし 関根 まみ子 田中 寿一 小俣 のり子 ふじさわ 進一	小林 あすか 間宮 由美 栗原 ゆたか 大橋 美枝子 ます 秀行 関根 まみ子 セバタ 勇 竹内 すすむ 早川 和江 須賀 精二	本西 みつえ 斉藤 つばさ 白井 正三郎 滝沢 やすこ 岩田 まさかず 所 たかひろ 関根 まみ子 田中 寿一 川瀬 やすのり ふじさわ 進一	伊藤 ひとみ 田島 寛之 しかくら 勇 白井 正三郎 所 たかひろ 野崎 まこと 大橋 美枝子 金井 しげる くぼた 龍一 高木 ひでたか	田島 寛之 斉藤 つばさ 牧野 けんじ 神尾 てるあき 間宮 由美 佐々木 ゆういち 中山 たかひと 伊藤 てる子 中道 たかし 早川 和江	神尾 てるあき 岩田 まさかず 太田 きみひろ 笹本 ひさし 田中 寿一 小俣 のり子 竹内 すすむ 田中 じゅん子 川口 としお 島村 和成

議員選出監査委員 島村 和成議員 くぼた 龍一議員

ウクライナ義援金を日本赤十字社に寄付しました

江戸川区議会は、3月30日・31日の両日にウクライナへの人道支援のため、駅前（小岩駅、船堀駅、西葛西駅、平井駅）で募金活動を行いました。

皆様からお寄せいただいた義援金546,329円は、区議会を代表して議長、副議長により、令和4年4月14日に日本赤十字社に寄付されました。これらの寄付金は、日本赤十字社を通じて救護活動に活用されます。皆様の温かいご支援ありがとうございました。

【ウクライナ義援金贈呈式】

1. 寄付日時 令和4年4月14日
2. 場所 日本赤十字社本社（港区大門1-1-3）
3. 寄付金額 546,329円
(街頭募金376,329円・各議員からの募金170,000円)
4. 日赤対応者 事務局パートナーシップ推進部長 磯 則和 氏
事務局ファンドレイジング推進課長 山津 義希 氏



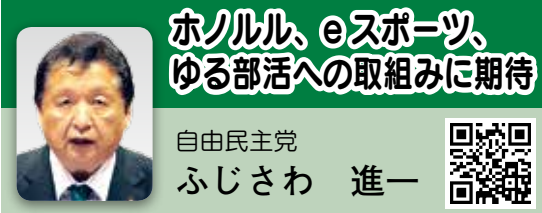
■ウクライナ義援金贈呈式の様子

区政への質問

6月20日に代表質問、21日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問



ホノルル、eスポーツ、ゆる部活への取組みに期待

自由民主党
ふじさわ 進一

問 令和5年4月の区長選挙まで残り数か月。3年が経過した斉藤区政の現段階での総括と、残された任期における区政運営への大いなる意欲は。

答 区議会議員の皆様、区民、事業者、関係団体の皆様の協力なくして前進はなかったと考えている。皆様からいただいたこの職責、残りの任期を日々全力で全うしたい。区民の皆様への幸せに向け、議員の皆様と一緒に取り組んでいきたい。

問 ホノルル市との姉妹都市盟約締結の今後の展望について。

①ホノルル市との協議の中で、今後どのような企画を立て、姉妹都市としての関係性を高め、区民とホノルル市民の相互協力と発展へと結び付けていくのか。現段階の予定や計画について。

②未来永劫の発展と友好の証になる、互いの自治体の名前の冠をつけた交流や拠点づくりを。また、ホノルル市での調印式の模様や現地での感触は。

答 ①②調印式は古代から伝わる伝統を再現した形で非常に厳粛な下に進んだ印象である。冠をつけたイベント等に至るまでには皆様の機運の高まりも必要であり、それを見定めながら相互の発展と友好の象徴となり、アピールできる方法を検討したい。ホノルル施設への区民優遇等、先方とも語りながら検討中である。共生社会や環境問題等の面でも連携を推進しつつ、友好関係をより強固なものにし、自然体で長く付き合える関係を構築していきたい。

問 eスポーツの推進について、共有プラザでの環境整備も含めた今後の具体的な取り組みや方向性は。また、区長のeスポーツに対する見解は。



eスポーツの推進について

答 共有プラザでは令和3年度でも2回、7館全体で交流大会を行っている。現在は共有プラザの中だけのため、世代や対象校をもっと広げてやっていきたい。全世代、様々な立場の方々が交流できるように、これから進めていく。

問 新金線が開業された際の経済、人流等の影響を考慮し、可能な限り、新金線開通に対して葛飾区との連携を深めるべきと考えるが、区長の見解は。

答 現在、葛飾区が学識経験者等で構成される検討会を発足させる準備をしており、本区にも検討会参加への打診をいただいている。検討会に参加させていただきながら、葛飾区と連携を深め、前進に向けて取り組んでいく。

問 区では今までもひきこもり対策として「オンライン相談」「居場所づくり」等に注力しており、今回の実態調査の結果を受け「オンライン交流」等、対策拡充を図ると聞いている。今後の対策について、特に重点を置いて取り組むことはなにか。また、その理由と期待する効果とは。

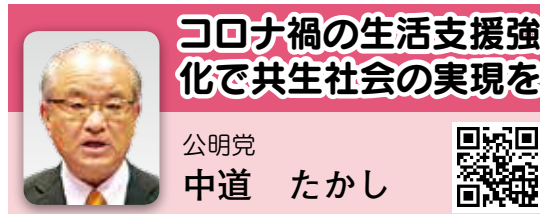
答 1つ目は一人ひとりに寄り添った対応である。悩みは十人十色で対応方法も当然異なる。2つ目はまだ状況が分かっていない残りの43%について更なる調査を行いたい。3つ目は区民全体で理解を深めていくことであり、条例のような形を検討している。いずれにしても、ひきこもりの方が暮らしやすい社会は、全ての方にも暮らしやすい地域であると考えている。その視点をもって進めていきたい。

問 行政内部からの就任ではなく、本区として初めて、教員生活を経た後、教育委員の職責を経て、教育長に就任された新教育長に、これまでの豊富な経験をもとに今後の本区の教育展望について、そのビジョンと決意を伺う。

答 本区の全ての子どもが学ぶ楽しさを実感し、明日の授業や登校を楽しみにできる学校、自己実現できる学校、子ども達の居場所づくりに力を注ぐ学校、地域から愛され誇れる学校にしたい。働き方改革を含めた教員の質向上の手立てと、校長が自覚をもって行動に移せるよう、力になっていく。校長、教職員の声に耳を傾け、支え、議員の皆様力を借りながら様々な方策を講じ、少しでも理想に近づけていきたい。

問 全国各地の中学校ではサッカー等の勝敗や記録を重んじるチャンピオンスポーツに加え、気分が向いたとき等に気軽に楽しめる「ゆるい部活動」、いわゆる「ゆる部活」が注目されている。体力向上を主眼とした「ゆる部活」に対する認識は。また、区における取り組み事例とその効果は。

答 体力向上とともに生涯にわたり運動に親しむ態度を育てるため、ゆる部活は大変重要であると認識している。本区では、体力づくり等を目的とした部活動が9校設置されており、ヨガやダンス等を取り入れている学校もある。体育の授業が楽しくなったという子どもの声もあるため、誰もが気軽に取り組める、ゆる部活の設置を促進していきたい。



コロナ禍の生活支援強化で共生社会の実現を

公明党
中道 たかし

問 ウイズコロナを余儀なくされる今、今後の生活者支援、事業者支援のあり方について。

答 地域経済の活性化や区民生活を守るため、積極的に臨時交付金等を活用していきたい。

問 新型コロナウイルス感染症対策について。

①引き続き医療体制の確保、充実を希望するが。
②業務が煩雑化する保健所の体制について。
③クラスターの発生が危惧される施設職員の定期的な検査の実施が重要であるとするが。
④ワクチン接種の円滑な推進、中でも医療従事者への確実な接種の推進が必要だと考えるが。

⑤若い方への啓蒙について。

⑥学校における子どものコロナ対策について。

答 ①国や都、医師会等と連携して区民の安心に繋がるような体制を構築していきたい。

②患者の安全を最優先する視点で保健所体制を見直し、強化をしている。

③現在、抗原定性検査キットによる検査を実施している。引き続き活用していきたい。

④様々な媒体で周知を行っており、医療従事者等への接種については国の動向を注視していく。

⑤引き続き、医師会と連携し支援を継続する。また、後遺症に関する情報や相談窓口の周知を行っていく。

⑥熱中症の危険性を十分理解していただき、マスクの着脱について、児童生徒や保護者に協力を求めている。

問 今後の災害対策の方針について。

①地域防災計画のブラッシュアップと防災ゲームの活用について。

②避難行動への啓蒙活動について。

③避難所のシャワー機能の必要性について。



今後の災害対策の方針について

答 ①被害想定の内容を検証し、都の動きをにらみながら地域防災計画のブラッシュアップを進めていきたい。また、防災ゲームについては、有効性を検証しつつ広めていきたい。

②講演会や区民ニュース、防災アプリを活用し啓蒙に取り組む。

③衛生面やストレス軽減に繋がるため、既存施設の活用や購入を検討したい。

問 江戸川区の今後の教育について。

①教育長の4つの抱負を具体的に。

②区の抱える課題の認識と改善について。

③区の子どもの良さと地域の強みとは。

④区の教育にとって未来を見据えてどのようなことが重要と考えているのか。

答 ①学びを楽しみに登校し満足して家路につく学校。子どもが学校での出来事を楽しそうに話してくれる学校。地域が子ども達の元気な姿を見てわが町の学校と誇れる学校。教職員が勤務を続けたい、自身の指導する力が高まったと思える学校である。

②不登校対策、学力向上が課題である。子ども達に寄り添い、ICTも活用し推進していく。

③子ども達は素直で屈託がなく、人懐っこい。地域の温かさを感じ、地域力を活かして教育活動を展開できることが良さと強みである。

④時代に関わらず必要な学び、時代に合わせた学びの両方に力を入れ、誰一人取り残すことなく学ぶ楽しさや生きる幸せを実感できる教育を推進していく。

問 脱炭素の取り組みについて。

①新庁舎整備におけるCO₂排出実質ゼロへの取り組みについて区長の所見を。

②民間を巻き込み脱炭素先行地域への応募を。

③公共施設でのリサイクル品の活用について区長の所見を。

答 ①省エネ技術と再生可能エネルギーの導入、グリーン証書付き電力の調達によりCO₂排出実質ゼロを目指していく。

②民間企業の協力と意見を伺いながら、早い段階で応募させていただきたいと思っている。

③リユース品の導入について検討している。

問 ひきこもり対策について。

- ①実態調査結果をどのように分析しているのか。
- ②今後、区全体でどのように進めていくのか。
- ③条例制定に対する区長の考えを。


答 ①調査を通して、挙がってきた様々な課題に対する策を検討していきたい。

②ケースに応じ連携できる機関を幅広く開拓し、切れ目のない支援を実施していきたい。

③支援のあり方を含め、検討していきたい。


問 外国人アンケート調査結果を受け、どのような支援を進めていくのか。

答 ユニバーサルデザインマスタープランの策定、生活情報ガイドブック等の多言語化等を進め、更に暮らしやすい支援策を展開していく。



**来春放映朝ドラらんまん
小岩から世界へ魅力発信を!**

江戸川クラブ
笹本 ひさし



問 主要課題である新庁舎整備と小中学校改築等について。

①社会情勢の変化に伴う公共施設整備への影響を最小限にするためにも、区の対策や政策のあり方が喫緊急務と考えるが、区長の考えは。

②学校改築事業の進捗について。また、改築の中学校に通年利用できる温水プールの設置を。

③公契約条例制定から12年経過し、今後の事業について、社会的環境変化に即し、どのように展開していくのか。

答 ①関係法令に基づいた対応と物価高騰に応じた契約金額の変更等の対策を講じながら、計画通りに施設整備を進めていきたい。

②今後も学校施設老朽化の状況や適性配置の観点を踏まえ、年3校ペースで改築事業を進める。温水プールは、経費や運用方法、他自治体の取り組みを研究、情報収集等を行い、検討したい。

③教育環境整備を最優先に置きつつ、地域経済活性化という従来の方針も堅持して、必要に応じ見直しを行いながら、今後も制度運用したい。

問 成人年齢引き下げに伴い、トラブルに関する相談先や学校での消費者教育による知識醸成は必須であるといえるが、区の見解は。

答 相談連絡先は、区内各施設、学校に周知している。これからも重層的に若者に直に知らせてトラブル未然防止に努める。消費者センター等の外部機関と連携し出前授業や教材提供を受けている学校もある。今後も子ども達に消費者として正しい知識を指導していきたい。

問 子どもの権利条例制定に伴い、学校でどのような指導教育が新たになされているのか。

答 小中学校の社会科副読本に子どもの権利条例について掲載し授業等で指導している。タブレット端末にも条例をすぐ見られるようになっているため、教員も含め、有効に活用したい。

問 牧野富太郎博士の生涯を描いた朝ドラ「らんまん」放映にあわせ、ムジナモ発見の地である本区との繋がりを広く紹介すべき。

答 ドラマの放送を機として、積極的な情報発信や企画展示、撮影の協力等、区の魅力をアピールする機会に繋げていきたい。

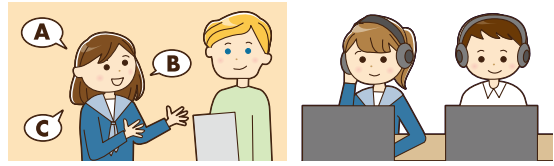
問 教員異動情報の年度内開示をすべき。

答 各学校では、異動にかかわらず、子ども達が先生に自主的に感謝の気持ちを様々な形で表しているため、年度内開示はしない方向である。

問 葛飾区保管の上小岩遺跡の出土品を多くの区民にも見ていただきたいが、区の見解は。

答 所有者の気持ちや、葛飾区の意向にも尊重しながら、前向きに可能性を探っていきたい。

問 都立高校入試の英語スピーキングテストについて、学校間格差や生徒に不利益が及ばないように、対策指導が望まれる。区の見解は。




都立高校入試の英語スピーキングテストについて

答 生徒や教員の不安な声は、都教育長会でも伝えていく。外国語指導アドバイザー等を積極的に活用し、英語を話す力を育てていきたい。


問 都市計画道路補助第264号線の今後の事業整備について。

答 引き続き未買収地権者の合意を得るべく、重点的に交渉を進め、街路整備の早期完了を目指し取り組んでいく。



**核保有反対、物価高騰対策
70万枚のアベノマスク受入**

日本共産党
セバタ 勇



問 ロシアによるウクライナ侵略と核兵器廃絶について。

①国連憲章を守らせる国際世論の包囲で侵略戦争をやめさせることについて、区長の見解は。

②「核共有提言」により、日本を核兵器保有国にするという提案について、区長の見解は。

答 ①3月4日に発出した区長声明で述べたとおり、軍事行動を直ちに中止し、平和的解決に向けた努力を行うことを強く求める。

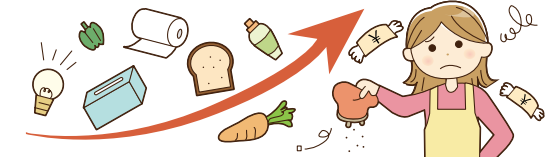
②防衛施策は国の役割であり、核共有は認められないという政府の見解を受け止めている。

問 物価高騰から区民のくらしと営業を守るために。

①ボーダーライン層等の困窮世帯への影響をどのように考えているのか。

②国の交付金や基金等を活用し、生活困窮世帯を中心に、区独自の支援策を実施すべき。

③住宅リフォーム資金融資あっせん制度に助成制度を加え、新しい生活様式の住宅改修支援を。



物価高騰から区民のくらしと営業を守ることに

答 ①物価高騰は全区民の生活に大きな影響を与えているため、区民の生活を守るための支援をタイムリーに進めていきたい。

②交付金を満額使い、支援の幅を更に広げて必要な施策を今定例会に提案している。

③区が行っている住宅リフォーム融資あっせん制度で利子補給等をしており、その案内をしているが、これから状況が変わるかもしれないため、必要性を見極めながら考えていく。

問 新型コロナウイルス感染症への対応について。

①4回目ワクチン接種にあたり、エッセンシャル

ワーカーを接種対象者とするよう国に要望を。

②都が児童施設等に配布している抗原検査キットをPCR検査キットに変更し、区が実態を把握できるよう、都に要望を。


③貴重な備蓄倉庫のスペースを使い、全国最多のアベノマスク70万枚を受け入れた理由は。

答 ①全国市長会を通して医療従事者等を加えるよう国に要望しており、対象者の範囲について今後の国の動向を注視している。

②PCR検査は感度の高さ、抗原定性検査は迅速性と簡便性において優れている。それぞれの特性を活かして検査を実施しており、現状においては、国や都の方針に基づき適切に選択されていると考える。検査の実施状況については、必要に応じて、都へ情報提供を求めている。


③感染症の流行等によりマスク不足に陥ったことから、区で備蓄が必要と考える。当初は予算を提案して購入予定だったが、今回厚生労働省からマスク配布が発表されたため、区民一人ひとりに配布できるよう受け入れた。

一般質問



**先手を打った積極的な
対策を講ずるために!**

自由民主党
野崎 まこと



問 区内でのウクライナ避難民の受け入れ人数と受けることができる生活支援の内容について。

答 現在、区内には9世帯13人が避難している。本区民として住民登録され、自動翻訳機の貸し出しや、生活困窮等の支援制度も適用している。

問 地方創生臨時交付金等を活用した物価高騰対策の推進について、区長の所見を。

答 今定例会では、食料費の高騰分の補助や中小事業者への支援並びに給食費補助等を提案している。お認めいただければ、タイムリーに対策を打っていく。

問 人口減少をどう受け止めているのか。また、コロナ禍があげた後の、町会・自治会活動再開による地域力再生に向けて、デジタル化の推進を踏まえた支援への区長の考えは。

答 コロナの感染状況と人口動態を注視していき、対応を考えたい。ICT等を活用した活動への積極的な支援、情報発信と共有を行い、更なる地域活動の活性化に努めていく。

問 都防災会議で10年ぶりに見直された首都直下地震等の被害想定を踏まえ、地域住民が取り組むべき防災活動とは。また、地域の取り組みに関し、区はどのようなサポートを行うのか。

答 地域の方々には引き続き、防災訓練や地区防災計画の策定等、地域防災力を高めてほしい。区では避難所運営協議会の取り組み支援、町会自治会等の地区防災計画策定支援を行っている。

問 遊休地を利用してスマート農業に取り組んでは。また、サペレメソッドの活用について。

答 農作業の効率化、従事者不足の課題解決に繋がる重要なテーマだと考える。サペレメソッドについても、収穫体験が食育学習に適合し効果があると認識している。土地活用と併せて、農を通しての食育学習の取り組みを研究したい。

問 西葛西駅前の飲酒グループの駅前占有について。区の魅力向上に悪影響であり、他の駅前も含め、どう取り組むのか。

答 他者からどう映るのかを伝えていく。警察と連携し、諦めずに粘り強く呼びかける。他駅でもこのようなケースがあれば同様の対応を行う。

問 ヤングケアラーの区内認知度と、支援の現状、今後の取り組みは。区内小中学校における小中学生と教員への認知度の向上や、中学生への面接による実態把握の現状と取り組みは。

答 これまでも校長会等で話題にし、教員の認知度を高めてきた。今年度は中学生全員に学級担任等が面談をし、心配な生徒には関係機関に繋いでいく。周知活動を進め認知度向上に努める。児童相談所にヤングケアラーコーディネーターを配置し、今後も子どもの気持ち等を尊重し、一人ひとりへ個別具体的な支援をしたい。

問 男性の育児参加を促すために、パパサークル等の、パパだけの落ち着いた場所の常設を。

答 両親学級やパパとパートナーのための育児ゼミ等の取り組みを通じ、家族みんなが協力して育児を行うことが当然の社会を目指して、気運を高めていきたい。

問 こどもホスピスの誘致の検討を。

答 庁内で引き続き議論を重ねていく。

問 ペットのマイクロチップ登録の効果と区民への周知について。

答 登録により、窓口での鑑札交付手続きが不要になり、失踪したペットを飼い主へ戻すことができる。区ホームページ等の活用や、ペットショップ等、様々な機関と連携し適切に周知する。

問 プール指導の民間委託等、部活動の民営化と地域移行について、教育長の所見を。

答 今後も経費や運用方法、他自治体の取り組みについて研究を進め、学校プールを含めた施設のあり方について前向きに検討したい。

問 サッカー「東京23FC」やラグビー「クボタスピアーズ」について、区としてどのように関わり、応援し盛り上げていくのか。

答 今後も地域の皆さんと一緒に我がまちのチームとして応援し、地域の賑わいや活性化に繋げていく。

問 マスクを外してよい場面での子どものマスク着用と、手洗いの強化について。

答 着用の必要ない場面では、教職員も外すことを推奨し、児童生徒の熱中症予防のために外しやすい環境を整えている。就学前の子どもも、子どもの様子を丁寧に観察、十分な注意を払っている。手洗いも有効な感染対策であるため、引き続きこまめな手洗い等を実施していく。

問 今後の電力不足に備えた区施設での対策と区民への周知について。


答 区民や区内事業所に対し、SNS等あらゆる手段を使い、熱中症予防に留意の上、節電協力を広く呼びかける。区施設では掲示物や館内放送により不要な電力消費の削減を徹底する。

問 給付要件を満たさないで持続化給付金を申請した事業者への自主返還を改めて周知すべき。

答 事業者には制度と申請内容を再確認していただくよう知らせていく。

**障がい者就労支援の拡充
小学校の教科担任制の推進**

公明党
所 たかひろ



問 障がい者の就労支援について。

①みんなの就労センターの成果と課題は。

②就労継続支援事業や就労移行支援事業にお

ける在宅での就労支援について。

答 ①令和4年5月31日現在で206名の会員のうち94名が22事業所で就労した。会員が希望する就労条件の勤務時間、勤務地、職種等について、求職者とミスマッチする部分が課題である。皆さんの理解を得ながら就労機会を開拓し確保していきたい。

②障がい者の働き方の可能性を更に広げていくために、支援効果を確認しながら、サービスの在宅利用について対応を進めていく。

問 区民に送付する全ての封書やはがきに音声コードを導入すべき。

答 区の印刷物に音声コードを活用することで区民に広く知っていただくことができることは、共生社会を進めるうえで大切だと考える。これから発送する封筒の音声コードの活用については、現在、全庁的に検討を進めている。

問 公共サービスの課題解決の一つの取り組みとして逆公募型プロポーザルの導入検討を。

答 大変興味深い手法だと考える。これからの民間との連携の一つのあり方として検討していきたい。

問 事業化に向けた京成本線の立体化と京成小岩駅周辺のまちづくりについて。

①連続立体交差事業の都市計画決定に向けて、都とどのように連携して取り組んでいくのか。

②今後のまちづくり協議会の位置づけと、住民への事業に対する周知について。

答 ①連続立体交差事業自体は都の事業であるが、駅前広場や側道等は本区が検討するため、都と区が連携して進める事業である。地元の皆さんとの合意形成を大事にしながら、都市計画決定に向けて取り組んでいく。

②これからは、次の段階である都市計画決定に向けた、具体的な検討や合意形成を図る場として、継続的に開催し議論を深めていきたい。事業化にあたっては、住民の理解と協力が不可欠であるため、懇談会や協議会で意見交換を重ね、個別説明会等を実施し、理解を深める取り組みを進めていく。

問 瑞江中学校付近の瑞穂大橋に繋がる「健康の道」について、交通安全対策の検討を。

答 これまでこの区間には、堤防下の道の一部カラー舗装や、案内サイン、花壇を設置し、健康の道のルートとして向かってもらえるよう誘導に努めてきた。一部老朽化もあるため、舗装や花壇、案内サインの見直しや改修を図り、安全に楽しく利用できる健康の道にしていきたい。

問 教科担任制について。

①モデル校で研究実践を進めている教科担任制の成果と課題は。

②今後のスケジュールとロードマップについて、教育長の所見を。

③導入に向け、区独自の手引き等を作成しては。


答 ①教員からは「授業準備を効率的に進めることができた」、「児童を複数教員の日で見ることによってチームで子ども達を支援する体制が整った」等。また、児童からは「色々な先生が自分をよくわかってきている」等の声が挙がっている。課題は、各教科で年間指導時数が異なるため、教員にバランスよく教科を割り振ることが難しいとの指摘がある。

②③これからは学級担任間の授業効果も含め組み合わせながら、英語の専科も増やしていきたいと考える。今までの研究成果を各校長と話し合い、教科担任制を実施する学校を増やす予定である。研究校で作成した研究成果資料をハンド

ブック化し、他校に活用したい。働き方改革に繋がる教科担任制を力強く推進していく。

子どもを守るため、皆で考え対話する機会を

江戸川クラブ
小林 あすか



問 子どものマスク着用について。

①区内の幼稚園、保育施設への対応について。

②区立小中学校への対応について。

③子ども達が議論する場を設けてはどうか。

答 ①一律に着用は求めないという国の方針を各園に通知している。子どもにとって安全安心な保育の視点から見た時にどうなのか、十分に注意を払いながら進めていく。

②マスク着用の必要がない場面では、外すことを推奨し、着用を希望する児童生徒や保護者には熱中症の危険性を説明し理解・協力を求める。③様々な立場の考えを理解し、マスク着用について意見交換することは有意義なことであるので、学校に働きかけていきたい。

問 区立小中学校における黙食の見直しや規制緩和への検討について。

答 学校給食の黙食については、今後の感染者数、国や都、他自治体の動向を注視し、段階を踏んで、会話が可能な状況にしていく。

問 区立小中学校におけるSNS活用について。

①アプリTeams内の投稿やチャット機能について、どのように対応しているのか。

②児童生徒や大人がSNSについて学ぶ機会、ルールについて話し合う場を設けることが必要だと考えるが。

答 ①Teamsは教員がチームを作ってクラスや部活動等ごとに活用しており、保護者からの欠席連絡にも活用している。児童生徒はチームを作成できない設定になっている。

②専門家を招いたセーフティ教室を実施している学校も多い。今後も子ども達に必要な資質・能力を、外部人材も活用しながら身に付けさせていく。

問 水辺の事故予防について。

①区立小中学校の水辺事故の予防活動について。


②命を守るための授業として、ライフセーバー等のプロの方々から話を聞く機会をつくっては。

答 ①毎月の安全指導や夏休み前の生活指導等において、河川等の水辺の危険性や水の事故を回避する方法を指導している。

②外部人材の活用等、地域、保護者、学校が連携し子ども達の安全を守ると同時に、子ども自身が身を守ることができる力を育てていきたい。

**インボイス中止を、防災ラ
ジオ助成を、教職員増員を**

日本共産党
大橋 美枝子



問 消費税インボイス制度導入について。

①区内免税業者等への影響の認識について。また、実態の把握を行うべき。

②シルバー人材センターに追加的な財政支援を。

③インボイス制度の導入中止を国に要請すべき。

答 ①導入には、税務上の手続きや事務処理の変更等、新たな対応が生じると認識している。税理士会の話によると、業種によって対応の違い

があると聞いており、国の動向を注視する。
②制度の影響を確認し、国の検討状況も踏まえ、適正な価格設定を行っていく。民間の発注にかかる負担増は、国で統一的に講ずべき問題であり、区としては情勢変化に対応できるよう、シルバー人材センターと緊密に情報交換を行う。

③現時点での課題がまだ不明なため、導入後の影響を注視して対応を検討する。

問 篠崎公園地区高台まちづくり及び自動起動式防災ラジオ助成について。

①篠崎公園地区高台まちづくりは説明不足、区の責任は。公園利用者等への今後の周知と対応は。

②高規格堤防整備事業等、5つの事業の総合的な費用の見込みは。

③高齢者、障害者等の要援護者に対し、自動起動式防災ラジオ購入助成を検討すべき。

答 ①これまで、回覧でのお知らせ、近隣町会や小学校等への個別説明にも努めてきた。今後も、国・都・区が連携し丁寧な周知に努める。公園利用者には園内に掲示板を新設し周知を図る。それぞれが責任を持って必要な事業を進め、区としても、国や都へ十分な対応を求めていく。

②現在、国と都とともに精査しており、完了次第、まちづくりニュースを発行し周知する。

③防災情報の伝達手段として、音声情報は6通り、文字情報は9通り用意しており、この15のツールを活用してほしい。

問 教育課題について。

①小学校1年生の学校生活支援と配慮が必要な子どものために、全クラスに支援員の配置を。

②学校図書館司書の配置日数を月2日から週1日に増やすべき。さらに、週2日配置の検討も。


③英語のスピーキングテストを都立高校入試の合否判定に使わないよう、都に見直しの要請を。

答 ①令和4年度、東京都教育委員会エデュケーションアシスタント配置支援事業のモデル地区として本区が指定され、会計年度任用職員を区立小学校20校に60名配置予定である。


②今後、区立図書館職員の学校図書館巡回事業の成果と課題を検証し、日数を含めた区立図書館職員の配置のあり方について検討していく。

③学校現場や生徒達の不安の声は、教育長会としても、東京都教育委員会に伝えていく。

個人情報保護、子どもの権利、乳児の一時保護



生活者ネットワーク
本西 みつえ



問 個人情報保護条例の改正時期等の見通しは。保護水準の検証と、改正前の個人情報保護審査会への諮問事項と同等の内容を改正後は報告に。

答 国のガイドラインに沿い内容を定め、第4回定例会に提案する。これまでの審査会の審議を踏まえ、区が判断基準を作成しチェックを行いたい。審査会への報告は、審査会と協議する。

問 子どもの権利条例の区内全ての子どもたちへの周知と電話を要しない意見表明の手段を。


答 副読本やタブレット端末で周知している。子どもと接する方々にも周知を図る。全児童に配った相談カードのQRコードをタブレットにかざすとメールフォームにとぶため、利用を促したい。

問 乳児の頭部外傷での一時保護判断は。また、


頭を打つことの注意喚起を。子どもの権利ほつとラインを第三者機関として機能拡充を。

答 子どもの安全を最優先に一時保護の要否を決定している。注意喚起は今後も引き続き行う。今後の運用については国の動向を注視していく。

春江橋の早期架け替えと説明会の定期開催を!



えどがわ区民の会
神尾 てるあき



問 春江橋の架け替え工事について事業説明会の定期的な開催を。また、明和橋の通行止めは生活への影響も大きく、春江橋の早期架け替えに期待する声があがっているが、区長の見解は。

答 地域住民に理解していただくため、今後も進捗に合わせて説明会を開催していく。また、河川内工事のため制約があるが、河川管理者と協議・調整を図り円滑に架替事業を進めていく。

問 感染防止対策で撤去されていた、タワーホール船堀のベンチやイスについて増設を。

答 1階3階はワクチン接種会場で使用するため戻していない。新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿いつつ、区民に支障のない範囲内で徐々に元に戻していきたい。

問 新庁舎建設に向けて、区職員の歯磨きや休憩スペースの確保等、職員の職場環境の整備を。

答 メリハリをつけた働き方が可能になるよう、一番長く庁舎を使うことになる若手職員が検討している。その内容も踏まえ対応していく。

総務委員会 主な議案審査内容

○令和4年度江戸川区一般会計補正予算（第3号）

・健康費 保健衛生費

委員より、子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種について質問があり、執行部より、本ワクチン接種は今年度から積極的勧奨を再開したことに伴い、差し控えていた期間に公費での接種機会を逃した方に対し、公平性を確保するため、令和6年度まで従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行う。今年度の対象者は、平成9年度から17年度生まれで、かつ過去に合計3回接種を受けていない方とし、今後、受診券やはがきを発送して接種の勧奨をする予定であるとの答弁があった。

これに対し、委員より、接種は任意ではあるが、ワクチン接種で予防できる唯一のがんであることから、機会を逃すことがないよう、公平に進めていくこと。また、接種への判断材料として、期待される効果と副反応の事例等も広く情報発信していくよう要望された。

○令和4年度江戸川区一般会計補正予算（第4号）

・産業経済費

委員より、原油価格や物価高騰に対する区内中小事業者への支援について質問があり、執行部より、国の地方創生臨時交付金に新たに創設された「原油価格・物価高騰対応分」を活用し、本区では、特に燃料費の高騰で経営への影響が大きい運輸・交通分野及び農林・水産分野の事業者に対して、業種別に売上規模に応じて、一事業者あたり最大20万円を給付する予定である。また、全業種への支援として既存の融資制度を拡充し、事業負担の軽減を図っていくとの答弁があった。

これに対し、委員より、本給付金の対象となる事業者に対しては、漏れがないよう周知するとともに、申請から給付まで迅速に進めていくこと。また、給付対象の拡大についても検討していくことが要望された。

議員から提出された議案

— 意見書は各関係機関に送りました —



令和4年第1回臨時会

○ハワイ州ホノルル市議会との友好議会協定の締結に関する決議

令和4年第2回定例会

○緊急事態に関する国会審議を求める意見書

〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、内閣官房長官 あて〕

国家の最大の責務は、緊急時において、国民の命と生活を守ることにある。国民は、緊急時に国民の命と生活を守るための施策と法整備、さらには、根拠規定たる憲法について、国会が建設的な議論に取り組むことを期待している。

よって、江戸川区議会は、国会において緊急時における憲法のあり方

について、建設的かつ広範な議論を促進するとともに、国民的議論を喚起するよう強く求める。

○地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書

〔総務大臣、デジタル大臣 あて〕

地方公共団体は、新型コロナウイルスの影響で、財政状況も厳しく、また、デジタルの人材不足も深刻な状態となっている。また、高齢者はデジタル化になれていない方も多く、ネットの環境が整っていない地域もある。

よって、江戸川区議会は、システム導入に向けて地方公共団体の状況を踏まえ、令和7年度までとした移行の目標時期について、必要に応じて柔軟な対応を検討するとともに、移行に伴う適切な財政支援と丁寧な情報提供を行うことなどを国に求める。

詳しくは、江戸川区議会のホームページをご覧ください。

議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記のQRコードからもご覧になれます。



令和4年第1回臨時会

■全会一致となった議案等の審議結果

Table with 2 columns: 件名, 結果. Items include budget amendments and reports.

令和4年第2回定例会

■全会一致となった議案等の審議結果

Table with 2 columns: 件名, 結果. Items include budget amendments, ordinance amendments, and contracts.

Table with 2 columns: 件名, 結果. Items include contracts for school renovation and road works, and reports.

意見が異なった議案等に対する各会派の態度 (○…賛成、×…反対)

※1 議長を除く
※2 区議会江戸川クラブの1人棄権

Table with 10 columns: 件名, 自民, 公明, 江ク, 共産, 生ネ, 区民, 無所属(50音順), 結果. Shows voting results for various proposals.

皆さんから提出された請願・陳情

請願・陳情については、こちら⇒



Table with 2 columns: 新たに受理されたもの, 付託委員会. Lists newly accepted petitions and their assigned committees.

Table with 4 columns: 番号, 内容, 委員会, 結果. Lists petitions and their assigned committees.

今回の定例会で取り下げられたもの

Table with 2 columns: 番号, 内容. Lists petitions that were withdrawn.

江戸川区議会議員名簿

【◎幹事長 ☆団長 □幹事長代行 ○副幹事長 △幹事】

氏名	会派	電話番号	連絡所
◎：高木ひでたか	自民	5661-4608	一之江5-7-17
○：田中 寿一	自民	5679-0413	船堀3-1-3
○：野崎 まこと	自民	3869-8125	西葛西6-8-13-2F
△：しかくら 勇	自民	3616-5851	平井7-14-19
△：田島 寛之	自民	3679-1261	鹿骨1-38-15
齊藤 つばさ	自民	3672-5849	北小岩8-24-6
白井 正三郎	自民	6231-4011	松島3-46-20
栗原 ゆたか	自民	080-6786-9125	松島1-41-18-301
中山たかひと	自民	3677-0072	西瑞江3-36-4
福本みつひろ	自民	3877-0541	東葛西8-7-33
ふじさわ進一	自民	3658-0783	南小岩6-28-11
早川 和江	自民	5678-0777	松本1-10-6
川口 としお	自民	3675-5994	南葛西6-13-14
須賀 精二	自民	3679-4445	江戸川2-33-17
島村 和成	自民	090-4827-3118	平井5-51-12
☆：川瀬やすのり	公明	5636-5530	江戸川1-28-7
◎：竹内 すすむ	公明	3652-6798	松江3-14-19
□：中道 たかし	公明	5607-0835	大杉1-1-1-703
○：関根 まみ子	公明	3869-0978	一之江7-11-25
○：太田きみひろ	公明	6657-2641	平井6-33-18 テイクレ平井102

氏名	会派	電話番号	連絡所
○：所 たかひろ	公明	3670-0334	新堀1-13-7
佐々木ゆういち	公明	5605-9262	北葛西5-4-15
くぼた 龍一	公明	080-1242-1642	中葛西2-26-10-1005
堀江そういち	公明	3658-8597	西小岩2-17-1-603
伊藤 てる子	公明	6903-7742	中葛西5-2-7-309
田中じゅん子	公明	6638-7465	上篠崎3-10-11
◎：笹本 ひさし	江ク	5668-2636	北小岩6-12-1-402
○：小林 あすか	江ク	3651-8300	一之江6-10-24
△：ます 秀行	江ク	090-2652-0995	西葛西8-8-2
岩田まさかず	江ク	3679-3223	上篠崎3-13-15 101号
◎：小俣 のり子	共産	3655-4422	中央2-7-5
○：牧野 けんじ	共産	6331-1791	東小岩3-13-9
△：セバタ 勇	共産	3637-4050	平井2-17-3
大橋 美枝子	共産	5674-3753	中葛西8-6-2
◎：伊藤 ひとみ	生ネ	5607-5975	中葛西3-17-4-702
○：本西 みつえ	生ネ	5607-5975	東小松川3-35-13-205
◎：神尾てるあき	区民	5243-8311	春江町3-32-3
○：金井 しげる	区民	090-2656-9152	南小岩3-15-20
間宮 由美	無所属	6231-5200	松江3-11-15
滝沢 やすこ	無所属	5609-8111	平井2-24-3

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、江ク…区議会江戸川クラブ、共産…日本共産党、生ネ…生活者ネットワーク、区民…えどがわ区民の会

ハワイ州ホノルル市議会との友好議会協定

江戸川区議会とホノルル市議会（アメリカ合衆国）は、相互理解と敬意を深め、確固たる友好関係を結び、未来にわたり交流を発展させることに合意し、令和4年6月9日（日本時間10日）に友好議会協定を締結しました。

両議会は、平等と相互利益の精神に基づき、両都市の住民が行う文化・観光・スポーツ・教育などの分野における相互の交流を支援し、両都市の繁栄のために互いに協力することとし、更に友好関係を深めてまいります。



■ホノルル市で調印式後の記念写真

【これまでの交流】

- 平成28年2月 区議会議長がホノルル市議会議長へ交流希望の書簡を送付
- 平成29年5月 「江戸川区議会とホノルル市議会の友好関係継続確認書」締結
- 令和元年8月 ホノルル市議会議長一行が江戸川区を表敬訪問
- 令和2年10月 区議会本会議で「ホノルル市議会との友好関係の確立およびホノルル市との姉妹都市締結の要望に関する決議」を議決
- 令和2年12月 ホノルル市議会で「江戸川区との姉妹都市盟約に関する議案」を議決
- 令和3年7月 区議会議長とホノルル市議会議長がWebで会談
- 令和4年5月 区議会本会議で「ハワイ州ホノルル市議会との友好議会協定の締結に関する決議」を議決

ハワイ州ホノルル市議会との友好議会協定の締結に関する決議

平成29年、江戸川区議会は「江戸川区議会とホノルル市議会の友好関係継続確認書」にて、両都市の交流推進について確認し、平成30年に江戸川区・ホノルル市友好議員連盟を設立、「江戸川区議会の国際交流推進に関する決議」を議決した。令和元年にはホノルル市議会代表団が来区、令和2年に両議会同士でオンライン会議を実施するなど、ホノルル市議会と江戸川区議会は、これまで両都市の友好関係の樹立に向けた様々な取り組みを行ってきた。

令和2年10月には、江戸川区議会において「ホノルル市議会との友好関係の確立およびホノルル市との姉妹都市締結の要望に関する決議」が議決され、同年12月に、ホノルル市議会において江戸川区との姉妹都市友好協定が議決。ホノルル市と江戸川区は姉妹都市盟約に合意した。

このたび、両都市の姉妹都市友好協定書を締結するにあたり、区と区議会代表がホノルル市を訪問する。これに併せて様々に両都市の友好協定の締結を先導してきた両議会の将来にわたる素晴らしい友好関係を継続し、発展させていくために友好議会協定書を締結する。

以上、決議する。

令和4年5月27日

江戸川区議会

令和4年第3回定例会開催予定

- 9月14日（水）……… 本会議（議案上程、委員会付託）
- 20日（火）……… 本会議（一般質問）
- 21日（水）……… 本会議（一般質問）
- 26・27・29・30日 } 決算審査
- 10月 3・4・6・11日 } 決算審査
- 13日（木）……… 常任委員会（議案審査）
- 14日（金）……… 各常任委員会（請願・陳情等の審査）
- 25日（火）……… 本会議（委員会報告及び表決）

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時または午後1時30分開会予定です。詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区議会広報委員会（◎委員長 ○副委員長）

- ◎高木ひでたか ○竹内すすむ
- 笹本ひさし 小俣のり子